

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 「15歳の心と体
いつかガラスの天井をぶち破ろう」
- 2 対象 3年生徒、教職員
- 3 専門医 高橋 一広 医師
(あかねヶ丘高橋レディースクリニック)
- 4 実施月 7月
- 5 内容(キーワード)
月経、精通、LGBTQ
ジェンダー格差

評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- ()とても有効だった
(○)有効だった
()課題が残った

<その理由>

*男女それぞれの体が抱えることを知ることが出来た。体について不安に思っていることの解決策を教えてもらえた。

②保健教育における校内連携について

- ()とても有効だった
(○)有効だった
()課題が残った

<その理由>

*性教育が、小学校から引き続き行われ、保健体育の時間とともに考える機会があることは、良い。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- ()とても有効だった
(○)有効だった
()課題が残った

<その理由>

*専門医の方から話を聞く機会があることは良い。

〔受講者の感想など〕

- 異性の大変さを知り、理解することが大事だとわかった。
- 多様性の社会なので、それぞれの人の思いや考えを理解するようにする。差別しない。
- 自分中心で物事を考えてはいけない。
- 月経痛のメカニズムがわかった。どれくらいの程度で病院に行けばいいのかわかった。一人で抱え込まず、人に相談したり、産婦人科受診したりをする。
- 子宮頸がんが増えているとわかったので、ワクチン接種を考えていきたい。

〔教科やその他の指導との関連性〕

- LGBTQについての知識が増えることで他者理解が進み、言動に気を配れるようになっている。